

2022 年度入学前特別講座 I を開催

2023（令和5）年2月13日（月）、名桜大学学生会館 SAKURAUM3 階大講義室 Bにおいて、2023 年度名桜大学推薦型入試合格者（北部地区県立高等学校の在学学生）57 人を対象に「入学前特別講座 I」を開催いたしました。本講座は、高大接続の取組の一環として、2018 年度から開催し今年 5 回目を迎えました。本講座は、「①現在の目標を明確にし、充実した 4 年間を送るための準備学習とする。②診断テストを実施し、自らの学習課題を理解する。③入学前に、同期の入学予定者同士や大学生との交流を通して、実りある大学生活に向けた期待や目的意識を醸成する。④入学前に大学の授業を体験することによって、学びへの興味・関心を広げ、大学で学ぶ意義を理解する。」ことを目的として、本学のリベラルアーツ機構主催で実施いたしました。

合格後の現在の目標を明確にすることは極めて重要です。そのことを実感・体験している先輩学生との入学前の交流は、貴重な体験となり、4 月から始まる学生生活を有意義に過ごすための示唆を与えてくれました。北部地区出身の先輩学生も加わって、本学の学生団体「ウェルナビ」が企画し、アイスブレイキングのゲームや情報交換等の交流会を行いました。その中で高校と大学のギャップについて学生たちの経験に基づいたアドバイスをを行い、大学生活に向けた目的意識を高めることが期待できました。また、診断テストを実施し、「入学前特別講座 II」の基礎資料として数学と英語の講座で入学前の準備学習をし、その学習習慣を維持させることもねらいとしています。

さらに、「小論文とレポート作成の違い」をテーマとした授業体験（ライティング講座）は、入学後の初年次教育を先取りした大学の講義を体験できるというメリットがあります。

13 日は 54 人の参加（参加率 94.7%）があり、4 つの目的を確認し、達成に向けた入学前の大学での有意義な学びができたようです。事後アンケートの結果を報告いたします。



写真1 リベラルアーツ機構長による講座の主旨説明



写真2 交流会の様子



写真3 学習センターの紹介

◆ 受講者の感想より

- ・大学の特色などについて知ることができ、安心して入学の準備を進められると感じた。
 - ・自分の知らないことや大学のことについて、学ぶことができたのでよかったです。交流する機会もたくさんあり楽しかった。
 - ・大学入学後の目標を立てることの必要性、どのような大学生活を送っていくのかを考えるきっかけになった。
 - ・大学生になるためにどうしたらいいのか、大学と高校の違いも知ることができたので、入学してからスムーズに出来るようにしたい。
 - ・仲のいい先輩の姿が見れて 4 月からの学校生活が楽しみです！
 - ・知ってる人も少なく、不安が大きかったけど、交流会を設けてくれてすごく肩が軽くなりました。大学生活も楽しそう。
 - ・基礎学力テストを通して、自分の基礎学力の課題を見つけることができた。参加してよかったと思う。
 - ・参加してなかったら先輩方との会話もなかっただろうし、同級生との繋がりも難しかったと思う。
 - ・数学・英語の基礎力診断テストを通じ、たくさんの課題点を見つけることができました。次はこの課題点を明日からの三日間で、または自己学習でどう解決していくか、克服するかを考えて勉強していきます。
 - ・これからの大学生活において、積極的な声かけ、コミュニケーション能力はとても大切になっていきます。
- 私も受け身ではなく、この方を見習ってたくさんの方々とコミュニケーションをとるようにします。

◆ライティング講座



写真④ ライティング講座の様子

ライティング講座の受講者の感想より

- これから大学でさらに書く機会が増えるから、ライティングスキルを身に付けていきたいと思いました。
- 小論文とはまた違ったものを1から作るとなると、違った勉強も必要になるので頑張ります。
- 高校までで習えなかったことが端的にかつわかりやすく述べられていてとても良かったです。
- あまり成績が良くないけど、書くことを求められている時代らしいので、レポートのルールとかを学んで、レポート力をつけたいです。講座を受け教養がついた感じがしました。
- 学力が低くてもライティングは努力すればするほど伸びると聞いて頑張ろうと思った
- これから大事になってくる論文やレポートのことについてためになることを沢山聞けたので良かったです。
- 高校での小論文と、大学でのレポートや論文の違いを知ることが出来ました。難しそうだなと思いましたが、努力したぶん上手になると聞けたので、頑張りたいと思いました。
- 書くことが苦手だけど、やっていく事でできるようになると知って良かった。
- レポートを書く時に何が良くて何がダメなのかを知ることができ、今後に活かしていきたいと思った
- ライティングは努力が実りやすいという言葉を教えて下さってとてもやる気になった。
- 今までレポートや論文の書き方等を学んだことがなかったのでとても学びがありました。今後に活かしていきたいと思えます。とても分かりやすく、入学後の講座が楽しみになりました。
- 高校の時の小論文とレポート、論文は全然違うものだわかりました。大学入ってレポートとか書く機会があると思うので今日のことを意識して書いていきたいです。
- レポートや論文は努力した分だけ上手になると知り、安心とやる気が出てきた。

◆ 交流会に参加した北部出身先輩学生のコメントより

- 高校生の不安な点は、勉強についていけるか分からないところだと言っていました。高校と大学ではやっぱり、何かしら違うことは把握してる様子でした。また、今日は北部の学生だけでしたが、中南部や県外の学生と交流することへの不安も感じているようでした。中には、まだ入学していないせいか、何が不安で、疑問点が分からなそうな感じの生徒もいました。終始緊張してる人もいれば、意外と打解けるのが早い人もいました。
- 入学後も、ウェルナビの学生などのサポートが必要だと感じました。
今日の不安要素を踏まえて授業の組み立て方を中心に細かく指導していく必要があると思います。
- なるべく学生同士触れ合える時間を授業以外に作ってあげると後々の大学生活楽しくなるのかなと思います。
いい交流会でした。継続していけると新入生はすごく心強いと思います。

いつも協力していただいている新入生支援ボランティア「ウェルナビ」の皆さんや北部の先輩学生のご協力に感謝いたします。皆さんとの連携で、充実した時間を共有することができ、講座の目標はほぼ達成することができました。入学後のサポートもよろしくお願いいたします。